

平成 2 1 年度 実 施 事 業	<b>事務事業名</b> 日胆はまなす里親会補助金
----------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	1	地域での子育て支援
主要な施策	2	地域子育てボランティアの育成と活用
事務事業番号	001	事務事業コード 11112001 事業開始年度 昭和 4 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	日胆はまなす里親会補助金
------	------	------------	--------------

部 名	保健福祉部	グループ名	子育て G
-----	-------	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対 象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 日胆はまなす里親会
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 里親として登録されている会員で組織する会の運営を財政支援している。  里親会の主な事業(平成21年度) 5月30日 総会 8月1、2日 研修交流会(白老町) 9月13日 全道里親研修大会(函館市) 10月9日 全国里親大会(東京都) 10月20日 里親フォーラム(札幌市) 12月 里子プレゼント 随時 役員会、支部研修会
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 受託児童(里子)の健全な育成、里親制度の普及啓発。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 児童福祉法

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	受託児童(里子)の健全な育成、里親制度の普及啓発。	会員数	目標値	9	10	11	12	13
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単 位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	30	30	30	30	30	90
合 計				30	30	30	30	30	90
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	23	24			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		23	24			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 里親は要保護児童の養育制度の中のひとつで、市にはすべての児童の健全育成という責務がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 受託児童(里子)が健全に育成されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 受託児童(里子)の育成には、里親の養育技能の向上、養育環境の調整が必要で、里親会への支援を継続することにより、その成果が得られている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 室蘭児童相談所管内の自治体がそれぞれ財政支援しており、登別市単独での削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	児童にとって家庭で養育される里親制度は、乳児院、児童養護施設等での養育に比べ、より望ましい養育の形態で、里親会の役割は重要である。
----	----------------------	---

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)